

第 2 回 青葉山エリア文化観光交流ビジョン検討懇話会 主なご意見

■市民アンケートに関すること

No	委員ご意見	ビジョン（案）への記載	ページ
1	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段に関する満足度について、どういう交通手段で来ている人が満足または不満かということが分かると、何をしなければいけないのかが見えてくるため、クロス集計を行うべき。 エリアを週 1 回程度または月 1 回程度訪れる方が 40 人程いる。この方々が、エリアに何を期待しているかを詳しく見たい。 	クロス集計の結果を掲載する。	20

■全般に関すること

No	委員ご意見	ビジョン（案）への記載	ページ
2	「青葉山エリア」という名称があまり認識されていないのではないかと。今後そうした名称が認識されることが重要。	<ul style="list-style-type: none"> 「青葉山エリア」は今回のビジョンで、新たに範囲を定め、呼称するもの。エリアの範囲の考え方を明記し、本ビジョンを通じて周知を図っていく。 市民のみならず、広く国内外にも発信することから本ビジョンの名称には「仙台・」を冠することとする。 	2 表紙
3	政宗公の時代と現在の間にある戦災など、エリアの歴史の変遷を、自然や学術、文化などを通じて見せると、それが今の豊かさにどう繋がり、どう手を入れたりしようとしているのかが分かりやすくなるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> 「青葉山エリアの歴史」の中に記載。 戦後のエリアの写真を追加する。 「青葉山エリアの歴史」に【コラム】として「天然記念物青葉山」について追記する。 	4～6 5 8

■コンセプトに関すること

No	委員ご意見	ビジョンへ（案）の記載	ページ
4	自然や歴史などそもそものエリアの価値として、政宗公のまちづくりへの思いや城下町づくりがある。こうしたことを踏まえた上で、エリアの強みや特性がある。これらの価値を伝えなければ、市民や来訪者に、このエリアは素晴らしく、訪れる価値があるという共感が及ばない。	<ul style="list-style-type: none"> 「強み」という表現を「価値」に改める。 政宗公の思いとして「エリアのあゆみ」に「入そめて…」の歌と写真を記載する。 コンセプトの前提となる基本計画の記載に、計画から引用した文章を追記する。 	24、26 4 26
5	<ul style="list-style-type: none"> 自然を破壊しないということを担保するような言葉を入れておくことが大事。人間だけではなく在来の生物により観光客など人の往来を呼び込むという発想の転換が必要。 将来の取り組みを考える上で、天然記念物青葉山や史跡の存在が前提条件になることを整理しておくことが必要。 	「コンセプトの考え方」に、当該視点を踏まえた内容を追加する（◆の一つ目）。	26

6	市民が、自然を大切に、歴史を守っていくという思いのもとで多様な過ごし方、楽しみ方ができるエリアだと思う。「多様な」の表現のベースとなるものを、コンセプトに入れるとよいのではないか。	「コンセプトの考え方」を、当該視点を踏まえた書きぶりに修正する（◆の三つ目）。	26
7	・仙台が「都心」と「青葉山エリア」との双子のような構造になっているということは、コンセプトとして重要ではないか。 ・自然を壊さずに守り続けながらも、エリアに親しみを持ったり、使えるようにしようということが、コンセプトなのではないか。	「コンセプトの考え方」に、当該視点を踏まえた内容を追加する（◆の一つ目、四つ目）。	26

■将来像、取り組み等に関すること

No	委員ご意見	ビジョン（案）への記載	ページ
8	市民にまず来てもらいたい、楽しんでほしいという視点で見ると、「観光」があることで他の人が行く場所だと捉えられてしまうのではないか。「人々をひきつけふと訪れたい」という将来像は全部盛りで、これはまさに観光ではないか。全部入ると「観光」というしつらえ整理できるとよいのではないか。	・都心にも「観光」の要素があることを図中に明示する。 ・将来像において、「観光拠点」という視点がやや弱かったため、「コンセプトの考え方」の◆の四つ目及び将来像の一つ目を修正する。 「市民が楽しめること（場所）が、旅行者にも楽しめる」ということを踏まえた記載とする。	26 26～27
9	MICEや音楽ホールに外から訪れた方がその地に魅力を見出すということがある。市民と外からの来訪者がともに作り上げる、育てていくことができるエリアになればいい。	将来像「学都の知と先端技術で未来社会をリードする」の書きぶりを変更する。	28
10	青葉山エリアのことを発信する主体が必要。多様な施設の情報に精通してそれをまとめ、さらに魅力を加えて発信するということは大変なことだ。そのあたりをどう具体的に描いていけるかを考えた方がよいのではないか。	・第4章「2 ビジョンの実現に向けて」に、庁内の連携や、関係機関等との連携について記載する。 ・ビジョンを踏まえた具体の取り組みとして今後検討する。	42
11	保全する部分と開発していく部分分かるよう、もう少し寄った図もいずれ必要になってくるのではないか。	本市の他計画に規定されており、本ビジョンはこれら計画を踏まえたうえで策定することとしている。	10～13
12	青葉山へ歩いてもらうことが大事であり、青葉通、都心とのつなぎ目となる大町や西公園などに店ができ楽しんで歩けるよう、そうした民間の投資を呼び込む施策も必要。	第3章「3 回遊性の向上に向けて」において「都心と青葉山エリアをつなぐエリアのにぎわい創出」や「民間事業者等との連携」について記載する。	29